

第2回枚方市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会

1. 日 時:令和6年6月 25 日(火) 10 時 00 分 ～11 時00分

2. 場 所:輝きプラザ3階 教育委員会室

3. 出席者

(1)選定委員

いであち だいご
井手内 太 吾 学校教育部次長

たなか ようこ
田中 洋子 枚方市立山田中学校長

ちはら まさとし
千原 正敏 枚方市立樟葉西小学校長

なかた ゆうすけ
中田 祐 介 枚方市立枚方中学校教頭

なかの ようこ
中野 洋子 枚方市立蹉跎小学校教頭

まきむら たけし
牧村 剛 枚方市PTA協議会代表

なかやま よしこ
中山 佳子 枚方市PTA協議会代表

(2)事務局

くつぬぎ よしこ
沓 拔 淑子 学校教育部 教育指導課 主幹

こうさか ともみ
上坂 友美 学校教育部 教育指導課 主幹

かきうえ ゆうや
垣上 祐哉 学校教育部 教育指導課 係長

4. 配付書類・資料

(1)第2回選定委員会次第

(2)第1回選定委員会配付資料一式

(3)資料1:令和7年度使用教科用図書選定資料小学校用

(4)資料2:学習指導要領および令和7年度使用中学校教科用図書編集趣意書

- (5)資料3:令和7年度使用教科用図書(中学校)調査の報告について
- (6)資料4:令和7年度使用中学校教科用図書発行者別一覧
- (7)資料5:学習指導要領のポイント
- (8)資料6:令和7年度使用中学校教科用図書の見本本について(報告)
- (9)資料7:教科書の閲覧に関するアンケート

5. 次第

- (1)開会の挨拶
- (2)令和7年度使用教科用図書採択に係る経過報告
- (3)教科用図書見本本等の閲覧
- (4)協議
- (5)閉会の挨拶

6. 会議内容

教科書担当

- ・枚方市の附属機関条例において、委員の2分の1以上の出席が定められており、2分の1以上の出席を越えるため、会議が成立しており、条例第9条第1項に基づき非公開となっている旨の説明。

(1)開会の挨拶

井手内委員長

- ・本日議論いただく教科用図書については、学校教育法第34条に準用し中学校での使用義務が課せられている教科書の選定に関して、教育委員会に意見を答申していただく極めて重要な会議である。
- ・本日の第2回と今後の選定委員会において、学習指導要領の目標、内容を踏まえ、枚方市の生徒にとって最も適切な教科書はどれかという視点でご審議いただき、教育委員会が採択するにあたり有益な意見を答申したいと考えているため、よろしくお願いしたい。
- ・本日の会議の流れについて確認させていただく。まず事務局から第1回選定委員会からの経過報告を受ける。次に、「令和7年度使用教科用図書中学校用の見本本」、及び大阪府の「令和7年度使用教科用図書選定資料中学校用」をご覧いただく。その後、協議において、選定委員の方々からご意見等をいただきたい。

(2)令和7年度使用教科用図書採択に係る経過報告

教科書担当

- ・資料の確認、英語科デジタル教科書の書類の確認。
- ・前回の選定委員会からこれまでの経過のご報告をさせていただく。
- ・前回、第1回教科用図書選定委員会において、中学校の国語、書写、社会(地理的分野)(地図も含む)、社会(歴史的分野)、社会(公民的分野)、数学、理科、音楽、美術、技術・家庭、保健体育、道徳、外国語の13種目について各3名の調査員を置くことを決定していただ

いた。

- ・種目ごとに、教育委員会が校長から1人、教頭を1人、教諭等を1人、合計3人を、調査員として任命している。そして、令和6年6月7日に第1回調査員全体会を行い、調査にあたっての説明を事務局から行なった。
- ・現在、種目ごとに調査員が、それぞれ調査日時を設定し、全発行者の教科書見本本をもとに、大阪府教育委員会が作成した資料①令和7年度使用教科用図書選定資料中学校用を活用し、また、資料②学習指導要領および令和7年度使用中学校教科用図書編集趣意書も参考にしながら、調査を進め、調査報告書にまとめている。

井手内委員長

- ・調査報告書にまとめるとあったが、その様式、今後の選定委員会の進行について説明を願う。

教科書担当

- ・資料③の様式1にあたる「令和7年度使用教科用図書（中学校）調査の報告について」を基に説明。左上に種目が記載されており、その横に、調査員3名の所属、職名、氏名が記載されることになっている。その下に、「令和7年度使用教科用図書（中学校）調査事項」、発行者、書名、著作者の欄がある。
- ・表の「項目」については、資料①の府の選定資料と同じ、5項目を基本とする。資料①の府の選定資料を活用し、この項目について、適切に観点内容を設定し、学習指導要領の各教科の目標内容等を踏まえて調査研究を行い、その結果を記述する。5つの項目「1. 内容の程度」「2. 組織・配列」「3. 人権の取扱い」「4. 学び方の工夫」「5. 補充的な学習・発展的な学習」に加え、種目によっては市独自の項目を設定する場合もある。この項目についても、学習指導要領の目標及び内容をふまえたものとなる。
- ・6月7日に開催された「枚方市地区第1回中学校調査員全体会」の場では、資料①の「令和7年度使用教科用図書選定資料中学校用」を活用すること。よい特徴の事実を列記すること。各項目における良い特徴が明確に表われるよう、記述をもとめている。それぞれの種目ごとの発行者数及び冊数については、資料④に記載されている。
- ・公正かつ主体的に全発行者の教科書について、適切な調査を行うこと。等、作成に当たり、説明を実施した。調査員は、調査結果をこの報告書にまとめ、選定委員会に報告することになる。
- ・補足になるが、現在行われている各種目の調査は、その調査日時、場所等について、外部に漏れることのないよう、厳重に注意しながら行っているが、開かれた採択の観点から、教科書採択事務が全て終了する予定の8月末日以降、調査報告書は調査員氏名も含めて、枚方市情報公開条例に基づき、公開対象となる。調査員にはその旨、調査員全体会で伝えている。

井手内委員長

- ・各種目の調査員は調査した結果を資料③の報告書にまとめ、本選定委員会に報告するということであるが、前回確認したとおり、次回の選定委員会で、調査員の方から、直接説明を受

ける予定で進んでいると考えてよろしいか。

教科書担当

- ・各種目の調査員の代表者には、7月上旬に開催される第3回、第4回選定委員会に出席していただき、選定委員の皆様へ直接、報告及び説明をしていただく時間を設けるよう予定している。

井手内委員長

- ・調査員の調査状況及び、今後の予定について、事務局から説明があったが、その他も含め、質問等はないか。

井手内委員長

- ・第1回選定委員会で説明があった、学校における見本本展示については、現在どのような状況か。

教科書担当

- ・教科書採択に対し、広く教職員に関心をもってもらうために、5月20日から6月21日まで、中学校ごとに5日間の期間を設定し、見本本を回覧した。
- ・意見書として各発行者の特長や長所等が書かれたものが、教育委員会に提出されている。現在回収している分を参考資料として提供する。

井手内委員長

- ・各学校の教職員の意見についても、参考にする必要があると考えるが、いかがか。
- <異議なし>

井手内委員長

- ・各学校からの意見書の内容についても、必要に応じて、報告してもらうこととする。

井手内委員長

- ・その他に質問等はないか。

田中副委員長

- ・前回、市民に教科書を見てもらうため、枚方市立教育文化センターにある教科書センターや中央図書館で展示をされているという話であったが、現在どのような状況か。

教科書担当

- ・御殿山の教育文化センター及び枚方市立中央図書館において、6月6日から13日まで法定外展示を、そして6月14日から6月29日まで、法定展示を行っている。昨日までに64人の閲覧者があり、ご意見もいただいていると報告を受けている。その際のアンケートもこちらに用

意している。

井手内委員長

・64人という人数だが、市民のみなさまの興味関心が高いということが感じられる。先ほどの説明では、教科書センターにおいても閲覧者の意見が届いているということ。そのことについても、我々選定委員は、把握しておく必要があると考えるが、いかがか。

<異議なし>

井手内委員長

・教科書センターでの閲覧者の意見についても、各学校において提出された意見書と共に、必要に応じて、報告してもらうこととする。

井手内委員長

・その他、中学校教科書採択にかかわる要望や意見はあるか。

教科書担当

・現在、教科書採択にかかわる要望等、3件出されている。この内容について、後でご覧いただけるようにする。

井手内委員長

・その他に何か質問はないか。

<なし>

(3)教科用図書見本等の閲覧

井手内委員長

・それでは、只今より、資料①及び教科書見本等をご覧いただく時間をとる。本日お配りしているメモを活用し、各項目における良い特徴を記入していただければと思う。また、それぞれのお立場から見ていただいて、「子どもたちにとってこんな教科書がいいな。」と思われることを、また学習指導要領における改善のポイントなども念頭におきながら、ご覧いただければと思う。その後、10分間の休憩をはさみ、再開後に、採択についてのご意見をいただく。

(4)協議

井手内委員長

・それでは、再開する。教科書見本や資料①の令和7年度使用教科用図書選定資料をご覧いただき、感想も含めてご意見を願います。具体的にこの教科書がよいというのではなく、それぞれのお立場から見ていただいて、「子どもたちにとってこんな教科書がいいな。」と思われることを挙げていただきたい。

牧村委員

・どの発行者のものも、昔と比べ、興味関心をひくものになっている。今の教科書は全体的に学びやすい工夫があり、よい。写真も詳しい。

中山委員

・国語の教科書を中心に見比べた。今の教科書は二次元コードもあり、読み取ると、わかりやすい図が出てくる等、非常に工夫されている。年表も記載されていて、よい。

中田委員

・外国語と社会科地理、地図を中心に閲覧をした。外国語の二次元コードが非常に工夫されており、家庭学習や自由進度学習でも使えるようになっている。デジタル教科書については、現在使用中だが、ペンで書き込んで画面保存をしたり、音声をふき込んだり等、子どもたちは活用している。また、本文内容もわかりやすくなっている。社会科では探究を意識されるようなつくりになっていて、予備知識は二次元コードで補えるようになっている。

中野委員

・幼小中高へのつながりという視点で閲覧をした。幼小のつながりが分断されていないとよい。社会科の歴史に関しては、歴史を教えるのではなく、歴史をつかって、社会の見方考え方を耕せるようになっている。どの教科書の学び方も丁寧に書かれていて、何を学び、何を考えるのかよくわかるようになっている。小学校からもシームレスにつながっていることがわかる。

・道徳は、内面の成長のために、自分自身と向き合い、見つめ合い、他者との考えを受け入れながら、内面を耕す領域である。今の子どもたちにどれだけ近づけるかも意識され、人気漫画、有名人が取り扱われている。子どもたちがきちんと学べるように、各発行者で工夫が見られる。

千原委員

・道徳を中心に閲覧をした。道徳は、なかなか、子どもたちが何を学ぶのかわかりにくい教科ではあるが、どの発行者も何を学ぶのかわかりやすくなっている。テーマの設定もわかりやすい。より子どもたちの生活に密着できている。安全防災や情報モラル、スポーツ等々も含め、親しみのある事物を取り上げて、興味関心をもつよう工夫されている。学び方も、何を学んで何を考えるのかわかりやすく示されている。

田中委員

・英語を中心に閲覧をした。小学校で学んできたことが、中学校で止まってしまうように。先生方には、教科書をしっかり活用して、それがないようにしてほしい。1年間、また3年間で何を学ぶのかが、どの発行者においても明確である。

・教科書によって作りが少しずつ違うが、聞いて、話して、書くながれは共通している。スモールトークがある発行者も見受けられる。生徒がいま、興味のある内容、社会的な内容、理科の食物連鎖等、ただ単に読むだけでなく、自分の考えを英語で話せるようなつくりになっており、多くの工夫が見られる。イラストも写真も入り込みやすく、わかりやすい。

井手内委員長

- ・枚方市では、一斉授業からの脱却を掲げている。今までのような受け身の授業ではなく、対話をしながら進めていくことが大切。いかに教科書に、学び方を学ぶエッセンスがあるか。例えば国語でも、子どもたちだけで学べるようにできているか、思考ツール等も使って、自分の中で考えを構築できるようになっているかを見ていきたい。
- ・外国語の教科書で、子どもたちだけで学べるような工夫が見られたか。

中田委員

- ・やはり話す・聞くことが大切で、文字や紙の教科書だけでは難しいところがある。

井手内委員長

- ・今の学習基盤の中で、授業の在り様をどれだけ変えていけるか。いかにして学んでいくのか。今後、調査員からの報告も、それぞれ今話していたような視点をもって聞き、考えてほしい。
- ・ほかにご意見はないか。

<なし>

井手内委員長

- ・本選定委員会としては、次の第3回選定委員会で、各調査員からの報告書に基づいて、答申をまとめていくこととする。
- ・小学校については、文部科学省からの通知に「令和5年度に採択したものと同一の教科書を採択しなければならないこと。」とあることから、現在、枚方市が使用している教科書について、まとめていくこととする。答申をまとめるにあたり、意見はないか。

<なし>

井手内委員長

- ・それでは、次回につきましては、調査員からの報告を受けて、全種目の教科書について審議願う。

田中副委員長

- ・本日は、令和7年度使用中学校教科用図書の選定のために、教科書や大阪府の選定資料をご覧いただくとともに、様々なご意見をいただいた。次回は、現在調査員が行っている全種目について報告を受けることになる。
- ・本市の生徒にとって最良の教科書を採択するために、その報告をもとにさらに審議を重ね、教育委員会への答申をまとめることになる。次回も熱心な審議をお願いしたい。

井手内委員長

- ・それでは、第2回選定委員会を終了する。次回の選定委員会は、7月9日・11日に開催を予

定している。